

平成 28 年度

特別展「清方、明治への思慕 —江戸の残り香とともに—」

江戸の庶民文化が色濃く残る明治の東京の風情は、それが失われた昭和以降、鏗木清方が「心のふるさと」と思い、制作のよすがにした題材だった。

清方は大正の末より、官展などの大展覧会へ実在の人物を美人画や肖像画に表し出品する一方、市井の展覧会へは過ぎ去りし時代の文化に材を求め、季節感あふれる庶民の暮らしの風情を描いて画域を広げ、絵巻物の制作や表装への彩色など、新たな表現も追求した。本展覧会では、昭和前期に〈七絃会〉など市井展で発表された作品を中心に、清方芸術の精髓の一端を紹介した。

会期 平成 28 年 4 月 21 日(木)～5 月 25 日(水) (開館日数:31 日)

総入館者数 2,926 人(一日平均:94 人)



関連事業

「市民講座」【開催期間】平成 28 年 4 月 26 日(火)～30 日(土) 学芸員等による美術館や清方に関する講座を実施。

「日本画制作実演」【日時】平成 28 年 5 月 7 日(土)・8 日(日) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 【講師】松岡美樹子氏
日本画家による制作実演を実施。

「鎌倉ミュージアムめぐりスタンプラリー」【開催期間】平成 28 年 4 月 9 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日)

「日本画ワークショップ」【開催日時】平成 28 年 5 月 15 日(日) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30

「江戸電沿線 PASSPORT」【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

外国人を対象にした絵葉書のプレゼントを実施

関連記事

「過ぎ去りし時代の庶民の暮らしを描く 鎌倉で鏗木清方展」(東京新聞 5 月 5 日)

「日本画家 鏗木清方の特別展 鎌倉」(毎日新聞 5 月 7 日)

他 14 件

出品作品

作品名	制作年	技法/材質・形状	サイズ	所蔵
初冬の花	昭和 10 年(1935)	紙本着色・屏風	147.0×149.0	東京国立近代美術館蔵 (二曲一隻)
目黒の栢莖	昭和 8 年(1933)	絹本着色・画卷	53.8×489.0	同上
紫花映水	昭和 3 年(1928)頃	絹本着色・軸	144.0×50.7	個人蔵
白魚	制作年不詳	紙本墨画淡彩・軸	28.1×63.0	個人蔵
背戸の小川	大正 15 年(1926)頃	紙本墨画淡彩・軸	49.4×56.4	個人蔵
露の干ぬ間	大正 15 年(1926)頃	紙本墨画淡彩・軸	39.7×45.3	個人蔵

【所蔵品】

「桜もみぢ」「牡丹 一」「牡丹 二」「芍薬」「舞妓」「大和路の或る家」「狐狗狸」「襟おしろい」「註文帖」

下絵 「たけくらべの美登利」「水声」「五月雨」「築地川春雨」「舞妓」

スケッチ 「舞妓」「大和路の或る家」「岩淵より富士山」「初冬の花」「桜もみぢ」

『清方美人画譜』 「春雨の寮」「浜町河岸の秋」「島田くづし」

『文藝倶楽部』口絵 「白魚(口絵・下絵)」「汐干狩」「ひともし頃」 『新小説』口絵 「舞の袖」「起誓文」

『講談雑誌』口絵 「菖蒲湯」 『講談世界』口絵 「千代田の大奥(口絵・下絵)」

泉鏡花関連口絵 「神鑿」「恋女房」「風流線(口絵差上げ)」 江見水蔭関連口絵 「霧姫(口絵・下絵)」

団扇 「のれん」「日傘 美人」

その他 「清方図案 浴衣地 白木屋特選」『主婦之友』附録 短冊「憩ひ コクヨ便箋」

「月(明治風俗美人) 部分」『主婦之友』附録

書籍 「東海木曾両道中懐宝図絵」「江戸名所図会」「七絃会 第 5 回展 図録」

特別展 「古きよき抒情を求めて 一 珊々会出品作品を中心に」

昭和 9 年、高島屋美術部主催の「珊々会」第一回展が開かれ、日本画壇を担う 6 人の画家が一堂に揃い注目を集めた。会の名は清方が命名し、展覧会は昭和 22 年まで11回開催され、会員がそれぞれの画題と画風で自由に筆を揮った。清方は、明治時代の風俗や芝居などに取材した作品を発表。本展覧会では、古きよき時代の情緒が香る珊々会出品作とともに、同時代の作品を中心に紹介した。

会期 平成 28 年 5 月 28 日(土)～7 月 3 日(日) (開館日数:31 日)

総入館者数 3,158 人(一日平均:102 人)



関連事業

美術講演会「京都画壇の画家たち 一清方との関わり」 【講師】鬼頭美奈子氏(名都美術館主任学芸員)

【日時】6 月 6 日(月)13:30～15:00(15:00～15:30 学芸員による展示解説)

「鎌倉ミュージアムめぐりスタンプラリー」【開催期間】平成 28 年 4 月 9 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日)

「日本画ワークショップ」【開催日時】平成 28 年 6 月 18 日(土) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30

「江ノ電沿線 PASSPORT」【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

外国人を対象にした絵葉書のプレゼントを実施

関連記事

「鑑木清方記念美術館 特別展 古きよき抒情を求めて-珊々会作品を中心に-」(広報かまくら 6 月 1 日号)

「鑑木清方記念美術館 古きよき抒情を求めて」(かながわ美の手帖 6 月 24 日)

他 13 件

出品作品

作品名	制作年	技法/材質・形状	サイズ	所蔵
巢林子	昭和 10 年(1935)	絹本着色・軸	72.2×86.6	東京国立近代美術館蔵
明治時世粧	昭和 15 年(1940)	絹本着色・軸(双幅)	(各)128.8×41.4	DIC 川村記念美術館蔵
美人図 (足利本銘仙 ポスター原画)	昭和 6 年(1931)	絹本着色・額	104.5×50.0	足利市立美術館蔵
澗水有声	昭和 14 年(1929)頃	絹本着色・額	43.1×57.5	佐野市立吉澤記念美術館 寄託
築地川	昭和 16 年(1941)	絹本着色・折帖	(各)34.0×42.5	個人蔵

【所蔵品】

「山百合」「道成寺」「ゆかた」「夏の柳井戸(柳乃井戸)」「朝夕安居 昼」「清流」「風景(池)」「浅みどり」「あじさい」

「ゆあみ」「崔承喜(一)」「崔承喜(二)」「夏の生活」「游心庵漫筆」「絵日記(里から町へ)」

下絵 「蟹と童」「朝夕安居 昼」「紫陽花の谷」「明治の女」「祇園林の歌人」「七夕(左隻)(小下絵)」

「築地川界限『明石町』、『佃島』、『合引橋』、『軽子橋』」

スケッチ 「御殿場からの富士」「由比ヶ浜」「崔氏像」「踊る崔承喜」

文学関連口絵 「村井弦斎著『日之出島』」「小杉天外著『落花帖』下巻」「泉鏡花著『薄紅梅』(口絵・下絵(2点))

『文藝倶楽部』口絵 「そゞろあるき」「梅雨晴(口絵・下絵)」「白鳥」「湯治場」

『新小説』口絵 「沼の女」「空虚」

菊池幽芳著作口絵 「お夏文代 前編」「百合子 中編」「筆子 初枝の巻(口絵・下絵)」「夏子 前編(口絵・下絵)」

「宝庫探検 秘中の秘(口絵・下絵)」

『苦楽』表紙 「牡丹」「花菖蒲」「あまのがは」「菖蒲湯」「宇治の蜚」「箱庭」

『少女界』 「さみだれ(口絵)」「『少女界』(表紙)」「草莓(表紙)」

その他口絵 「緑蔭」「さつき花」「玉づさ」

その他 「清方意匠 白地藍ろうけつ染紫陽花模様浴衣地」

「清方原画 テーブルセンターあじさい(毎日新聞社主催「鑑木清方展」記念)」

企画展 「清方の美しき絵の世界」

江戸の風情が残る下町で育った鏗木清方は、季節の風物詩のなかでも、夏を好んで描いた。涼しげに浴衣を着こなす下町の女性達や金沢八景の別荘で穏やかに過ごす家族など、清方は、身近な人や市井の人々の生活する姿に作品の題材を求めた。本展覧会では、金沢八景の別荘で着想を得て描かれた名作《朝涼》とともに夏の風情豊かな作品や口絵などとともに、スケッチや下絵、校合摺など、日本画と口絵の製作過程もあわせて紹介した。

会期 平成 28 年 7 月 8 日(金)～8 月 28 日(日) (開館日数:45 日)

総入館者数 3,444 人(一日平均:77 人)



関連事業

「夏休み親子鑑賞」

【開催日時】平成 28 年 7 月 8 日(金)～8 月 28 日(日) 会期中、小・中学生及び同伴者観覧料無料

「夏休み子ども参加プログラム」

【開催日時】日本画:平成 28 年 7 月 28 日(木)・29 日(金)・8 月 5 日(金) 9:30～11:30

木版画:平成 28 年 7 月 21 日(木)・8 月 18 日(木) 13:30～15:30

「親子で美術館へ行ってみよう！」

【開催日時】平成 28 年 7 月 27 日(水)・8 月 2 日(火) 9:30～11:30

4 歳から小学 3 年生までのお子様と保護者の方でご参加できるワークショップを開催

「日本画ワークショップ」 【開催日時】平成 28 年 7 月 16 日(土) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30

「鎌倉ミュージアムめぐりスタンプラリー」 【開催期間】平成 28 年 4 月 9 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日)

「江ノ電沿線 PASSPORT」 【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

外国人を対象にした絵葉書のプレゼントを実施

「ゆかたサービス」 【開催期間】平成 28 年 8 月 1 日(月)～31 日(水)

浴衣を着た来館者を対象にした観覧料割引を実施。

関連記事

「鏗木清方記念美術館 企画展 清方の美しき絵の世界」(広報かまくら 平成 28 年 7 月 1 日号)

「鏗木清方記念美術館 清方の美しき絵の世界」(かまくら四季のみどころ 7 月号 掲載記事)

他 14 件

出品作品

「小楠公弁の内侍を救う」「新大橋之景」「寒月」「年増美人」「夏の思い出」「朝涼」「清子四歳像」「涼(未定稿)」「河岸(未定稿)」「砂浜少女」「夕立雲」「手賀沼(当館寄託)」「女役者衆八」「金沢絵日記」「金沢絵日記(五)」「君ヶ崎漫筆」

「《三郎窺幼将図》肉筆回覧誌『美術くら遍 一』の内」

下絵 「寒月」「紅雨荘(右隻)」「風鈴」「女役者衆八」

スケッチ 「桔梗」「鯛」「茄子」

『文藝倶楽部』口絵 「鸚鵡(下絵・校合摺・差上げ・口絵)」「蚊遣の煙」「涼風(口絵・下絵)」「海風(表紙絵)」

「いで湯の夕べ(下絵・校合摺・口絵)」「よき事き(下絵・校合摺・口絵)」

『講談雑誌』口絵 「盆提灯(清方畫譜の七)」「恋の湊(清方畫譜の八)」

その他文学関連口絵 「泉鏡花著『風流線』(袋装丁・下絵)」「渡邊霞亭著『新渦巻 光子の巻』」「金島苔水著『韓文日本豪傑桃太郎伝』(表紙絵・校合摺)」「徳田秋声著『黄金窟』(口絵・差上げ(2 点))」「小栗風葉著『白波女』後編(口絵・表紙絵)」

江見水蔭著作口絵 「海底の宝庫 前編(口絵・表紙絵)」「海底の噴火 後編(口絵・表紙絵)」「廃船万里号 前編(口絵・表紙絵)」「廃船万里号 後編(口絵・表紙絵)」

その他口絵 「五月雨『今様 夏の巻』(口絵・下絵)」「夕涼み『文藝界』」「海水浴『少女界』」「しほかぜ」「とんぼつり」「遠足」「星多き夜『婦人世界』」「茶屋の二階『婦女界』」「笹團子『女性』」

うちわ 「美人 朝顔」「雁皮」「美人 日傘」

企画展 「樋口一葉没後 120 年記念 ひびきあう、清方と文学」

十代の頃の清方は、樋口一葉の著作を愛読し、いつか挿絵を描きたいと切望していたが、一葉が 24 歳の若さで他界したため、その願いがかなうことはなかった。

その後、挿絵画家として当時の人気小説家たちと仕事をするようになり、世間に広く認められ、日本画家へ転身し、近代日本画を代表する画家となる。一葉の文学を敬愛する気持ちは変わることなく、折に触れて画題に取り上げ、特に『たけくらべ』の主人公・美登利を繰り返し描いた。

本展覧会では、一葉の没後 120 年を記念し、自らの「制作の水上」と位置づける代表作の一つ《一葉女史の墓》のほか一葉に関する作品を中心に、尾崎紅葉や泉鏡花の著作など、当時の文学との深いかかわりを、秋の情趣が感じられる作品とともに紹介した。



会期 平成 28 年 9 月 3 日(土)～10 月 19 日(水)

(開館日数:40 日)

総入館者数 3,238 人(一日平均:81人)

関連事業

「日本画ワークショップ」【開催日時】平成 28 年 9 月 17 日(土)、10 月 15 日(土) 13:00～14:30、15:00～16:30

「日本画制作実演」【講師】長谷川 幾与氏

【開催日時】平成 28 年 10 月 9 日(日)・10 日(月・祝) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

日本画家による制作実演を実施。

「鎌倉ミュージアムめぐりスタンプラリー」 【開催期間】平成 28 年 4 月 9 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日)

「江ノ電沿線 PASSPORT」 【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

外国人を対象にした絵葉書のプレゼントを実施

関連記事

「企画展 樋口一葉没後 120 年記念 ひびきあう、清方と文学」(EXHIBITION 6 月 17 日) 他 19 件

出品作品

「砧」「一葉女史の墓」「秋宵」「孤児院」「金色夜叉の絵看板」「築地明石町の船・詞」「ほづき」「一葉(未定稿)」

「ふたつあちさゐ」「にこりえ (序文～第 12 図)」「にこりえ (第 13 図・第 14 図・第 15 図)」

下絵、スケッチ:「たけくらべの美登利」「大川端」「築地明石町」「小説家と挿絵画家」「たけくらべ(霜の朝)」

「たけくらべ(つり忍)」「初雁の御歌(小下絵)」「樋口家の墓(スケッチ)」

『文藝倶楽部』口絵:「ゆふ暮」「こすもす」「あさ露」

『新小説』口絵:「泉鏡花著「胡蝶之曲」」「泉鏡花著「瓔珞品」」「泉鏡花著「楊柳歌」」「泉鏡花著「紅雪緑」(口絵・下絵)」

『講談雑誌』口絵:「九月の海(清方畫譜の九)」「秋のおとづれ」

渡邊霞亭著作口絵:「勝鬨 中・下編」 田口掬汀著作口絵:「三晝夜」「情の人」

樋口一葉関連:「たけくらべ『現代名作集』(口絵原画)」「『樋口一葉全集』(扉意匠・書籍)」「たけくらべ『苦楽』(表紙)」

尾崎紅葉関連:「尾崎紅葉原著・溝口白羊作詩『家庭新詩 金色夜叉の歌』(口絵)」「尾崎紅葉原著『金色夜叉絵巻』

(口絵)」「『尾崎紅葉全集』(口絵)」「尾崎紅葉著『草茂美地』(コマ絵)」「『合本金色夜叉』(口絵)」

山岸荷葉関連:「山岸荷葉著『反魂記』(口絵)」「山岸荷葉著『紺暖簾』(表紙絵校正摺)」

泉鏡花関連:「さゝ蟹『田毎かゞみ』(口絵・表紙装丁)」「無憂樹戀女房」「式部小路』(口絵・差上げ)」「風流線(表紙)

「鏡花選集(箱・表紙)」「昭和全集(表紙)」

その他:「鳴沢宮の像『婦人倶楽部』附録(口絵)」「乳姉妹」「天うつ浪」「金色夜叉」「不如帰」「魔風戀風」「湯島詣(絵葉書原画)」

「一葉(切手)」「月にうさぎ(帯締)(泉鏡花遺愛品)」

特別展「清方の美 季節の装い」

明治はじめ東京に生まれた鏗木清方は、江戸より連綿とつづく伝統行事を享受しながら、幼少期を過ごした。そして日本画家となってからは、自身の体験や記憶をもとに、江戸や明治の風俗や伝統行事を季節の花々や風物詩とともに作品にあらわした。本展覧会では、四季の移ろいや江戸から明治の市井の人々の生活を、流麗な筆遣いで描いた数々の作品で紹介した。



会期 平成 28 年 10 月 22 日(土)～11 月 27 日(日) (開館日数:31 日)

総入館者数 2,716 人(一日平均:88 人)

関連事業

美術講演会「清方と江戸の四季」 【講師】新藤 茂氏(国際浮世絵学会常任理事)

【日時】平成 28 年 11 月 1 日(火)午後 1 時 30 分～3 時 30 分

「日本画ワークショップ」 【日時】平成 28 年 11 月 19 日(土) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30

「清方ゆかりの地を訪ねる～金沢・鎌倉～」 【日時】平成 28 年 10 月 25 日(火)午前 9:00～午後 3:00

清方ゆかりの横浜・金沢をガイド付きで散策後、当館にて学芸員による展示解説付きで鑑賞。

「鎌倉文化ゾーン ミュージアムめぐりスタンプラリー関連企画 4 学芸員たちが語るミュージアム×建築めぐりのススメ」

【日時】平成 28 年 11 月 23 日(水・祝) 午後 1:30～2:30 【会場】鎌倉市川喜多映画記念館 映像資料室

鎌倉市鏗木清方記念美術館、川喜多映画記念館、鎌倉国宝館、神奈川県立近代美術館の学芸員によるトークイベント。

「鎌倉ミュージアムめぐりスタンプラリー」 【開催期間】平成 28 年 4 月 9 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日)

「鎌倉の小さな美術館へようこそ」【開催期間】平成 28 年 10 月 22 日(土)～平成 29 年 1 月 20 日(金)

北鎌倉 葉祥明美術館との相互割引

「鎌倉芸術祭参加企画 朗読者 in KAMAKURA「鏡花語り 清方描く一ふたりの鎌倉物語」

泉鏡花の小説「星あかり」の朗読を音楽・空間演出を用いた上演と学芸員による解説。

【日時】10 月 29 日(土) 午後 1:30～2:30 【場所】極楽寺 客殿(鎌倉市極楽寺 3-6-7)

「江ノ電沿線 PASSPORT」 【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

関連記事

「鏗木清方記念美術館 特別展 清方の美 季節の装い」(広報かまくら 10 月 1 日号)

他 12 件

出品作品

作品名	制作年	技法/材質・形状	サイズ	所蔵
花ふゞき 落葉時雨	昭和 14 年(1939)	絹本着色・屏風 (六曲一双)	(各)168.7×373.2	水野美術館
娘	昭和 9 年(1934)	絹本着色・軸	58.0×72.7	同上
恵方詣	制作年不詳	絹本着色・軸	40.0×51.8	上原近代美術館
木槿と町むすめ	昭和 42 年(1967)頃	紙本着色・額	39.0×50	同上
秋草	明治 35 年(1902)	絹本着色・軸	60.1×35.9	当館寄託作品

【所蔵品】

「虫の音」「落葉焚く」「龍膽」「雑司ヶ谷会式」「雨華庵風流」「子供二人」「教誨」「秋草(寄託作品)」

下絵「茶の間の秋」「雨華庵風流」「十一月の雨」 スケッチ:「葡萄」「松茸」「菊」「栗」「ほおずき」

『文藝倶楽部』口絵:「伽羅」「八幡鐘」「夜長」「小春」 『婦人世界』口絵:「新夫人」「散るいてふ」

『講談雑誌』口絵:「旅愁(清方畫譜の十)」「朝寒(清方畫譜の十一)」

『新小説』口絵:「秋江(一情一景)(口絵・校合摺・下絵)」「冬の夜語(口絵・差上げ)」「祝ひ月(東京風俗)」

「小春(表紙)」

文学関連口絵:「古愚庵主人著『ゆるさぬ関』」「春風楼主人著『不破数右衛門』(前編)」「江見水蔭著『空中飛行器』

(前・後編)」「前田曙山著『矢口渡』(口絵・表紙絵)」「小栗風葉著『唐撫子』(後編)(口絵・表紙絵)」「小栗風葉著『戀

学生』(口絵・表紙絵)」

口絵:「ほづき」「秋漸く深し」「栗むく女」「小田原の海」「観菊」「少女界」「秋の山」「秋ばれ」「秋の旅」「菊」「思ひ出」

『苦楽』表紙:「舞妓」「牡丹」「花菖蒲」「あまのがは」「湯の宿」「神田祭」「菊」「錦繡の秋」「雪」「松の内」「王子詣」「春雨」

企画展「清方と新春の風景」

大正から昭和にかけて近代化が進む東京では、伝統的な慣わしは徐々に忘れられつつあったが、新春は晴れ着に日本髪を結った多くの女性が街を歩く光景が多く見受けられた。清方は、季節のうつろいに合わせ、佇まいを変える市井の人々の暮らしに題材を求め、正月を祝う街の人々の姿を日本画作品にあらわした。そして、展覧会で話題になった作品は、押絵師により意匠化され、押絵羽子板になることもあった。本展覧会では清方が描いた新春の風景とともに名押絵師・永井周山によって意匠化された羽子板《明治風俗十二月月》を紹介した。

会期 平成 28 年 12 月 3 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日) (開館日数:33 日)

総入館者数 2,465 人(一日平均:75 人)



関連事業

「鎌倉ミュージアムめぐりスタンプラリー」 【開催期間】平成 28 年 4 月 9 日(土)～平成 29 年 1 月 15 日(日)

「鏑木清方と山口蓬春」吉田五十八建築に見る日本画家の画室

【開催日時】平成 29 年 1 月 6 日(金)～3 月 20 日(月・祝)まで

建築家・吉田五十八が設計した画室をこよなく愛した清方と蓬春の記念美術館が連携して、入館料の割引等を実施

「鎌倉の小さな美術館へようこそ」【開催期間】平成 28 年 10 月 22 日(土)～平成 29 年 1 月 20 日(金)

北鎌倉 葉祥明美術館との相互割引

「江ノ電沿線 PASSPORT」 【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

外国人を対象にした絵葉書のプレゼントを実施

関連記事

「鎌倉市鏑木清方記念美術館 企画展 清方と新春の風景」(旅うらら 鎌倉・湘南ガイド MAP 10 月 28 日)

「鏑木清方記念美術館 企画展 清方と新春の風景」(広報かまくら 29 年 1 月 1 日号) 他 12 件

出品作品

「白梅」「ためさるゝ日(右幅)」「雪空」「雪旦」「春や昔」「松のうち」「歳旦」「白梅」「風景(里)」「宝珠」「永井周山作・押絵羽子板『明治風俗十二月月』」「ためさるゝ日(押絵羽子板)」「春の夜のうらみ(押絵羽子板)」

下絵:「春雪」 スケッチ:「鶏」「自画像」「自画像」「御殿場からの富士」「大川雪景色」

『文藝倶楽部』口絵:「餅むしろ」「春を待つ」

『文藝倶楽部』附録:「鏑木清方・鱈崎英朋 合作 新年大附録『松の内』」「時代美人風俗雙六」「新案雙六當世二筋道」

『新小説』口絵:「虎ノ門 見立十二姿の内」「幕あひ」

『講談雑誌』口絵:「初夢(清方畫譜の一)」 『文藝界』口絵:「都大路」

『婦人世界』口絵:「さくら色」「元日の朝」 『女學世界』口絵:「紅梅」 『大正婦人』口絵:「初東風」

『婦人公論』口絵:「歌留多會の夜」

『少女界』口絵:「クリスマス」「爐邊の少女談話會」 『少女界』附録:「宮川春江・鏑木清方 合作 歴史雙六」

『少女界』表紙:「初日の出」「きさらぎ」「看梅」

文学関連:「俣田露伴著『天うつ浪』(口絵)」「菊池幽芳著『小ゆき』前編(口絵)」「橋本埋木庵著『歌吉心中』(表紙絵)」

「稲岡奴之助著『貴公子』前編(表紙絵)」「村上浪六著『最後の岡崎俊平』後編(表紙絵)」

「村上浪六著『浮舟』(表紙絵)」「村上浪六著『武士道』(後編)(表紙絵)」

その他口絵:「春の人」「微笑」「楽しき贈り物」「今と昔の学生」「年始まわり」「初雪」「雪積む宵(名が十二月月その二)」

カレンダー:「風俗美人画(一)松の内 東京朝日新聞」「カレンダー 中井紙製品工業株式会社」

風呂敷:「扇子に藤と松」「扇面に松と飴や」「松と藤」「扇面に竹と梅」「凧と梅」「張子の虎とキンカン」

ふくさ:「氷梅」「松皮菱に梅」

「清方意匠 年賀状」

企画展「物語の中の女性たち ―清方の芝居絵を中心に―」

現在の東京・東銀座界限は、江戸より木挽町と呼ばれ、芝居小屋などが立ち並ぶ「芝居街」として賑わっていた。その芝居街の濃厚な雰囲気がある木挽町で少年時代を過ごした清方は、日ごろからよく芝居を観たり、雑誌『歌舞伎新報』を愛読するなど、芝居をこよなく愛する少年に育ち、芝居への愛は終生変わることなく、画家となってからは好んで題材にした。中でも恋に身を焦がした娘が次々と姿を変えて踊る「京鹿子娘道成寺」は、清方の心をとらえ、数々の作品を生んだ。また、「仮名手本忠臣蔵」のおかるや「本朝廿四孝」の濡衣など、恋人や夫に一途な女性の姿を情緒豊かに描いた。本展覧会では、清方の芝居絵を中心に、文学作品の口絵もあわせて紹介した。



会期 平成 29 年 1 月 19 日(木)～2 月 19 日(日) (開館日数:28 日)

総入館者数 1,919 人(一日平均:69 人)

関連事業

「鏑木清方と山口蓬春」吉田五十八建築に見る日本画家の画室

【開催日時】平成 29 年 1 月 6 日(金)～3 月 20 日(月・祝)まで

建築家・吉田五十八が設計した画室をこよなく愛した清方と蓬春の記念美術館が連携して、入館料の割引等を実施。

「～初心者向～日本画材で描いてみませんか？」(NPO 法人横浜金沢文化協会主催)

【開催日時】平成 29 年 1 月 24 日(火)

清方ゆかりの横浜・金沢(金沢地区センター)で日本画を描くワークショップを実施(協賛)。

「鎌倉の小さな美術館へようこそ」【開催期間】平成 28 年 10 月 22 日(土)～平成 29 年 1 月 20 日(金)

北鎌 倉葉祥明美術館との相互割引

「江ノ電沿線 PASSPORT」 【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

関連記事

「鏑木清方記念美術館 企画展 物語の中の女性たち-清方の芝居絵を中心に-」(あさひタウンメイト 1 月 4 日)

他 14 件

出品作品

「深沙大王」「早春」「梅蘭芳 天女散華」「春の立場茶屋(金沢春景)」「絵燈籠(鏑木清方・画 初代中村吉右衛門・書)」

「慶喜恭順」「道行浮埒嶋」「大蘇芳年」「先代萩一・二」「カルメン」「早見の藤太」「二人静」「笠の曲(娘道成寺)」

「武さし上下野 旅日記 一の巻拾遺」「野州 旅日記 二」「写生たび日記」「ひとつ契(田中素水 37 回忌祈念画帖)」

「田中素水 33 回忌 記念画帖」「八陣守護城(画帖)」「博多子女郎波枕 肉筆回覧誌『紫紅』の内」「道成寺 肉筆回覧誌『研究画林 卷之壱』の内」

下絵:「新富町」「高野聖 今様絵詞の会」「『金色夜叉絵巻』挿絵」「お夏清十郎物語 第 4 図」「お夏清十郎物語 第 6 図」「田舎源氏の黄昏『苦楽』」「舞踏道成寺」「偽紫田舎源氏」「偽紫田舎源氏」「新富町 浜町河岸(小下絵)」

スケッチ:「三遊亭圓朝」

『演藝俱樂部』口絵:「三ツ俣川の高尾」「茶屋の二階」「藤娘(表紙絵)」 『娯楽世界』:「娯楽世界」(表紙絵)」

『新演藝』口絵:「額の小さな(芝居十二ヶ月の中)」「辰橋の小百合(芝居十二ヶ月の内)」「箕輪心中の綾衣(芝居十二ヶ月の内)」「直侍へ出る千代春」「濡衣」「通夜物語の丁山」

『歌舞伎』表紙:「英獅子(表紙絵・校正摺)」「兼房小紋に蘆と鷺(おさんの紋附)(表紙絵・校正摺)」「牡丹燈籠(表紙絵・校正摺)」「男之助の隈取と仁木の上下(表紙絵・校正摺)」

『演藝畫報』口絵:「對牛棲の旦開野」 『苦楽』表紙:「紅梅屋敷」「道成寺」「高野聖」

文学関連口絵:「高野聖(『現代名作集別巻』河出書房新社)(口絵原画)」「菊池幽芳著『お夏文代』前編」

「泉鏡花著『三枚続』」「渡辺霞亭著『渦巻』上・中編」「お夏狂乱」「柳川春葉著『女一代』」「柳川春葉著『女一代』小夜子」

「菊池幽芳著『百合子』(前・中・後編 挿絵)(3 点)」「菊池幽芳著『売花娘』」「田口掬汀著『黒風』」「田口掬汀著『女夫波』後編」

その他:「芝居のお七『女形松蔦』」「幕間(清方美人畫譜)(口絵)」

「歌妓三態『御濠端』双雅房刊『鏑木清方繪入本 御濠端』」

企画展 「つつましくそして艶やかに-清方えがく女性-」

明治の末から鏗木清方は大展覽会へ出品を重ね、やがて美人画家として日本画壇における地歩を固めた。画題は演劇や文学に取材したもののほか、市井の人々の生活など多岐にわたり、日々の暮らしの中で美しいと感じた仕草や佇まいが流麗な筆遣いで描かれた。鋭い観察眼と入念な取材によって生み出された作品は、今日に至るまで多くの人々を魅了している。本展覧会では、自然のなかの女性美を描いた作品のほか、季節にあわせた女性の装いを細やかに描いた口絵を紹介した。



会期 平成 29 年 2 月 24 日(金)~4 月 16 日(日) (開館日数:45 日)

総入館者数 3,555 人(一日平均:79 人)

関連事業

「鏗木清方と山口蓬春」吉田五十八建築に見る日本画家の画室

【開催日時】平成 29 年 1 月 6 日(金)~3 月 20 日(月・祝)まで

建築家・吉田五十八が設計した画室をこよなく愛した清方と蓬春の記念美術館が連携して、入館料の割引等を実施。

「春休み親子鑑賞」 【開催日時】平成 29 年 3 月 25 日(土)~4 月 4 日(火)

期間中、小・中学生及び同伴者観覧料無料

「江ノ電沿線 PASSPORT」 【開催期間】平成 28 年 5 月 1 日(日)~平成 29 年 3 月 31 日(金)

外国人を対象にした絵葉書のプレゼントを実施

関連記事

「鏗木清方記念美術館 つつましくそして艶やかに-清方えがく女性-」(博物館研究 2 月 25 日)

「鏗木清方記念美術館 つつましくそして艶やかに-清方えがく女性-」(旅うらら 鎌倉・湘南ガイドMAP 1 月 10 日)

「つつましくそして艶やかに-清方えがく女性-」(サライ 2 月 10 日)

「鏗木清方記念美術館 企画展 つつましくそして艶やかに-清方えがく女性-」(モーニング 2 月 7 日) 他 13 件

出品作品

「嫁ぐ人」「水汲」「暮れゆく沼」「しだれ桜」「僧房春蘭(牡丹の寺)」「寫生」「太夫」「大和路の或る家」「崔承喜 二」「柳の下に涼む娘」「桜乙女」「自画像/水野年方夫妻」「自画像 挿絵原画」「水野年方作 清方写生」「春色嬋妍之図『美術くらべ 満記乃三』の内」

下絵 「霽れゆく村雨(下絵・小下絵)」「妓女像(左幅)」「野辺の女学生」

スケッチ 「沈丁花」「菜の花」「蕨」「つくし」「桜」「桃」

『文藝倶楽部』口絵 「白鳥」「都鳥」「緋桃」「花吹雪」「雛壇の下」

『新小説』口絵 「坪内逍遙著『和歌の浦』」「瑞香」「新緑」

『文藝界』口絵 「後藤宙外著『姫小松』」

『婦人世界』口絵 「春霞巾を着けた女」

『講談雑誌』口絵 「光のどけき(清方畫譜の四)」

文学関連口絵 「黒岩涙香著『野の花』(前・後編)」「広津柳浪著『絵師の恋』(前編)」「広津柳浪著『二筋道』(後編) (口絵・下絵)」「小栗風葉著『麗子夫人』(前編)」「小栗風葉著『新かつら下地』」「柳川春葉著『女一代(花枝)』」

「小山内八千代著『新緑』」「小杉天外著『にせ紫』(後編) (口絵・下絵)」「松居松葉著『玄雪姫』(前・後編)」「栗風葉著『横恋慕』(口絵・表紙絵)」「小笠原白也著『女教師』(口絵・表紙絵)」「稲岡奴之助著『貴公子』(前・後編)」「柳川春葉著『山桜』(表紙絵)」「稲岡奴之助著『三人書生』(表紙絵)」「微笑小史著『桜田之雪』(表紙絵)」

その他口絵 「おしろ酒」「ボートレース」「後の初子」「散歩」

附録 「醍醐の花見『九州日報』」「春装『国民新聞』」

絵葉書 「霽れゆく村雨」